

茨城県石岡市立三村小学校（学校長 菱沼 敏之）

実施日	平成19年6月29日（金）	時間	午前11時25分～午後3時40分
実施場所	体育館，図書室，音楽室	対象/人数	1～6年生124名，保護者35名
担当教諭	小林 千恵子	ファシリテーター	山形 正子
講師	松山 美子（台湾） 新垣 マリア（ペルー） オレリアン・パロン（フランス・県国際交流員）		

活動内容

- 第1部 歓迎会 11:25～11:40
- 第2部 交流会 11:45～12:15, 13:40～14:55
- 第3部 6年生による講師への自分達の文化や生活の紹介

児童の感想

- ・私は、ふれあい集会の前にペルーのことについてインターネットや本で調べておきました。どんな物を食べるのか、どんな物を着ているのかなんとなくわかりました。でも、ふれあい集会を通してペルーの方と直接話をしたり、ペルーのいろいろな品物に触れたりすることができ、さらにペルーについて理解を深めることができました。
- ・私は、フランスのオレリアン・パロン先生とたくさん交流しました。とてもおもしろい人でみんなを笑わせてくれました。日本語が上手でわかりやすくフランスについて教えてくださいました。第3部の交流会では、カルタをやりました。外国の方はあまり取れないだろうなあと思っていました。が、実際読んだ瞬間ぱっと取ったりしてすごいなあとおもいました。

先生の感想

- ・日本と外国との違いが実感できた。ふれあい集会では、外国を知るだけでなく、日本のことを新たに知ることができ、日本の良さも分かった。
- ・6年生は、一人一人役割を分担して活動したので、自ら積極的に取り組む姿勢が見られ、とても良かった。
- ・外国の人の生活の様子を身近に聞くことができ、自分たちと同じ人間だということを実感できたと思う。共に話したり、笑い合ったりした体験は、いつまでも心に残ると思う。

保護者の感想

- ・特にフランスの方のユーモアぶりには、笑わせていただきました。台湾の方のお話を聞いたり、みんなでダンスをしたのは、とても楽しかったです。なかなか親子一緒に踊ったり、手をつないだりする機会も減ってきていたので、この日はひさびさに親子のコミュニケーションもはかれたような気がします。
- ・各国の文化・風習・個性が力強くアピールされ、子供たちにも理解されやすかったと思います。ダンスや歌など子

供たちが楽しそうに参加することで、その国の個性を直接感じる事ができたと思います。子供も家に帰ってきてから、印象深いことを家族に説明したり、地図で確認したりしていました。

成果と課題

本校では、総合的な学習の時間に6年生が国際理解をテーマに学習しています。6年生の総合的な学習の時間に合わせて、1年生から5年生においても、「外国の生活様式の特徴を知り、日本との共通点・相違点を理解する。」「外国の方と交流を深める。」というねらいでふれあい集会を継続しています。

全校児童を対象にワールドキャラバンを実施し、普段なかなか接する機会の少ない国々の方とふれあうことができたことは、子どもたちにとってすばらしい体験でした。各国の文化や生活様式などについて、写真や展示品を見せながら日本語で熱心に話して下さったり、あいさつの言葉やダンス・歌などについて教えてくださいました。子どもたちは、日本との違いに歓声をあげて驚いたり、大きな発見をしたりしていました。また、一日自由参観日だったため保護者も多数参観し、親子共々楽しい時間を過ごせたとの感想が寄せられました。

この体験を生かして、今後の総合的な学習の時間にさらに学習を進めていきたいと思います。異国の文化も大切にしながら、自国の文化を振り返り、世界の中の一人として自信と誇りをもって生きていく子どもたちに成長させたいと思います。

